

News Release

空気清浄機や除湿機の事故にご注意ください

NITE（ナイト）[独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原] は、平成 28 年 5 月 26 日（木）に本所ナイトスクエアにおいて、記者説明会を開催します。

- 本格的な梅雨入りを前に、湿気対策等で、除湿機などを使う頻度が増えてきますが、空気清浄機（除湿・加湿機能付を含む）や除湿機による火災事故が多く発生しています。
NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、空気清浄機や除湿機による事故は、平成 22～26 年度までの 5 年間に合計 117 件^{※2}（空気清浄機 63 件、除湿機 54 件）発生しています。事故を被害状況別にみると、死亡 1 件、重傷 2 件、軽傷 12 件、拡大被害^{※3}67 件、製品破損 35 件となっており、また、全体の 66.7%（78 件）が火災^{※4}に至っています。その中には、不注意な使い方による事故のほか、リコール対象製品による事故も発生していますので、事故を未然に防止するため、リコール情報の確認方法や使用時の注意事項について注意喚起を行うものです。
- 事故の原因としては、「製品に起因する事故」が 63 件（53.9%）と過半数を占めています。これらの事故のうち、42 件^{※5}がリコール対象製品による事故で、そのうち 27 件が事業者のリコール実施後に発生しています。
[主な事故事例]
 - 空気清浄機を使用していたところ、製品内部の除湿機構部が異常発熱する不具合により、製品からカタカタと音がし、音が収まった後に発火した。
 - 就寝時に空気清浄機を使用していたところ異臭で目が覚め確認すると、製品内部の電気集塵部の不具合により、製品から発煙・発火する火災が発生していた。
 - 屋内で洗濯物を乾燥するために除湿機を 24 時間運転していたところ、製品内部のヒーターが保持部品から外れ、付近の樹脂部品に接触したことで発火した。
 - 約 10 年間使用した除湿機を持ち運んだ際、変色していた取っ手が折れて、除湿機が足に落下し、左足の親指を負傷した。
- これらの事故を防ぐために、NITE の「社告・リコール情報データベース」や新聞広告や折り込みチラシ、事業者のホームページ等で、お使いの製品がリコール対象製品に該当していないか確認してください。該当する場合はすぐに使用を中止し、事業者に連絡してください。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

（※2）平成 28 年 4 月 1 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

（※3）製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物にも被害をおよぼすこと。

（※4）ここでいう「火災」とは消防が認定したものを指す。

（※5）製品に起因する事故の中でリコール対象製品による事故発生件数。製品に起因しない事故や原因不明の事故に対して、今回はカウントしない。

(1) 記者説明会開催概要



日 時：平成 28 年 5 月 26 日（木） 10:00～（開場 9:00～）

会 場：ナイトスクエア

（東京都渋谷区西原 2-49-10 NITE 1 階）

参加を希望される方は、平成 28 年 5 月 25 日（水）18:00 までに、「お問い合わせ先担当者」へご連絡ください。会場準備のために必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

[電車でお越しの場合]

1. 京王新線「幡ヶ谷」駅から徒歩約 10 分
2. 小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅から徒歩約 15 分

(2) ご説明する内容

平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年間に発生した空気清浄機や除湿機の事故 117 件について、発生状況や傾向、事故事例、事故を防止するためのポイント等を、再現実験映像を交えてご紹介いたします。

また、当日は事故の再現実験映像、静止画を収録した DVD を配布いたします。

(3) 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区西原）では、入館管理システムとして、セキュリティゲートを導入しております。入退館の際は、受付にて発行する入館許可証が必要となりますので、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

入館時：受付で外来者用入館許可証をお渡ししますので、セキュリティゲートの読み取り部分にかざして入館してください。

退館時：入館許可証を受付に返却してください。

※ 庁舎内では、入館許可証を首からお掛けください

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美

担当：池谷、穴井、田代

- 記者説明会前日（5 月 25 日（水））及び当日（5 月 26 日（木））

電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870

- 記者説明会前々日まで及び 5 月 27 日（金）以降

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617